

JAAM認定アセットマネージャー資格試験（JCAM、JCAM-a） 選択試験問題

設問をよく読み解答を選択し、解答欄（I列）に○を入力してください。各設問で解答欄には○を1つのみ入力してください。

設問		選択肢		解答	見直し用・メモ
例題	財務会計と管理会計に関する説明について、 不適切なもの はどれか？	①	財務会計は、組織に関心を持つ様々な人に、組織の財政状態、経営成績、キャッシュフローなど、経営活動の結果に関する会計情報を提供する。		見直し用にご自由にお使いください。 採点には影響しませんので提出時にメモが残っていても問題ありません。
		②	管理会計は、組織内で必要な会計情報を作成・活用することを目的とし、組織外部には会計情報を生み出し、それを活用することを任務とする。		
		③	「マネジメント・コントロール」は、上位の管理者が組織目的や戦略の達成に向けて、より下位の管理者に対して影響を及ぼす体系的なプロセスをと定義できる。財務会計は、経営活動の結果を効果的に実践するための有力な手段となる。	○	4つの選択肢のうち1つだけに○を入力してください。 2つ以上○が入力されている場合、その解答は無効となります。
		④	「コスト・マネジメント」は、限りある資源を有効活用しながら、経営活動において、原価計算による原価の見える化」が重要となるが、管理会計は、		
		【共通基盤】			
Q1	アセットマネジメントシステムに関する説明の中で、 最も適当でないもの はどれか。	①	アセットマネジメントシステムとはアセットマネジメントの方針、アセットマネジメントの目標及びそれらの目標を達成するプロセスを確立するための、相互に関連し又は影響し合う一連の要素である。		
		②	組織は、JIS Q 55001 の規格の要求事項に従って、必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む、アセットマネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、かつ継続的に改善しなければならない。		
		③	アセットマネジメントシステムの要求事項は組織の状況、リーダーシップ、計画、運用及び改善から構成されている。		
		④	組織は、アセットマネジメントシステムを実施するプロセスから便益を獲得しようとする時に、全体のアセットマネジメントシステムが完全に運用されるまで運用の開始を待つ必要はない。		
Q2	アセットのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のある業務やアセットマネジメントを実施する業務について、組織が行うべき対応の中で、 最も適切でないもの はどれか。	①	アセットのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のある業務やアセットマネジメント、アセットマネジメントを実施する業務を行うために必要な力量を決定する。		
		②	適切な教育、訓練又は経験に基づいて、アセットのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のある業務や、アセットマネジメントのパフォーマンス及びアセットマネジメントシステムのパフォーマンスに影響を与える業務を担う人々が必要な力量を備えていることを確認にする。		
		③	アセットのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のある業務や、アセットマネジメント、アセットマネジメントを実施する業務に現在必要な力量だけでなく、将来的に必要な力量レベルを定期的にレビューし、必要な処置を講じる。		
		④	将来的なアセットの状況の変化などを勘案せず、現在のアセット及びアセットマネジメントのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のあることに対処できる力量を備えた人材を配置する。		

【実務的視点】				
Q3	企業会計とは、企業の経済活動を一定のルールに基づいて記録・測定し、その結果から得られた情報を利害関係者に伝達することを目的とした一連のプロセスである。 企業会計は財務会計と管理会計に区分されるが、財務会計と管理会計に関する次の説明のうち、 最も不適切なもの はどれか。	①	管理会計は未来志向、財務会計は過去志向の会計手法である。	
		②	企業は財務会計と管理会計の両方を共に取り入れなければならない。	
		③	管理会計の中核は、「予算管理」と「原価管理」の2つであり、予算管理とは、計画数値（予算）と実行結果（実績）を比較して改善していくこと、原価管理とは、目標とする原価と実際にかかる原価を比較して改善していくことである。	
		④	ライフサイクルコストの算定など、アセットマネジメントの実務においては、財務会計よりも管理会計の方が有用である。	
Q4	道路舗装のポットホール発生個数や、アセットあるいはアセットマネジメントに対する苦情発生件数を確率的にモデル化する場合、（ ）が利用できる。 上記の空欄に当てはまる用語として、 最も適切なもの はどれか。	①	マルコフモデル	
		②	ポアソン分布	
		③	マルコフ決定過程	
		④	モンテカルロシミュレーション	

【国内的視点】				
Q5	多くの地方公共団体にとって、厳しい財政状況や人口減少、公共施設の老朽化等に適切に対応しながら、活気に溢れる地域経済を実現していくことは、喫緊の課題であり、民間ノウハウや、場合によっては民間資金の活用まで踏み込んだ、新たな契約方式としてPPP/PFI（官民連携事業）がある。 PPP/PFIには様々な手法、スキームがあるが、これらに関する説明として、 最も不適切なもの はどれか。	①	包括的民間委託：従来の民間事業者への業務委託は業務毎の単年度の発注であったが、より効果的・効率的な業務の実施のために「複数の業務を束ね」て、「複数年の契約」で業務委託を行う方式	
		②	指定管理者制度：地方自治法で規定される「公の施設」の管理・運営において、より質の高い公共サービスを効率的に提供することを目的に、民間ノウハウを導入する制度	
		③	公募設置管理制度（Park-PFI）：PFI法に基づいて、飲食店・売店等の公園利用者の利便の向上に資する公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度	
		④	DBO方式：設計・建設とその後の維持管理・運営の各業務を一括して民間事業者に性能発注する、PFIと類似した事業方式であり、資金調達は起債などによって地方公共団体が行い、施設整備費については従来の工事と同様に、竣工までに民間事業者へ支払うことが一般的な契約方式	
Q6	JIS Z 8115「ディベンダビリティ（総合信頼性）用語」では、保全とはアイテム（施設など）が要求どおりに実行可能な状態に維持され、又は修復されることを意図した、全ての技術的活動及び管理活動の組合せであるとし、これらは予防保全、事後保全、時間計画保全、状態監視保全などから成るとされている。 予防保全、事後保全、時間計画保全、状態監視保全の適用に関する説明として、 最も適切なもの はどれか。	①	設備の摩耗具合をセンサーで常時監視し、摩耗が許容範囲を超えた時点で修理する場合、これは時間計画保全に該当する。	
		②	予防保全は、故障や事故を100%防ぐための完璧な対策を追求するものである。	
		③	同じ施設に対して、時間計画保全と状態監視保全を組み合わせる運用も可能である。	
		④	状態監視保全は、施設や設備に異常が発生してから監視を開始する保全方式である。	

JAAM認定アセットマネージャー資格試験（JCAM、JCAM-a） 語句挿入問題（例）

問：に入る適切な語句を解答欄に記入しなさい。
 ただし、同じ問題に複数の（ ）があるものには同じ語句が入る。

ISO 55000に関する設問	
Q1	3.3.19 アセットマネジメント アセットからの（ ）を実現化する組織の調整された活動。
解答	
Q2	8.1 運用の計画策定及び管理 組織は、次の事項の実施によって、要求事項を満たすため、及び6.1 で決定した取組み、6.2 で決定したアセットマネジメント計画、並びに10.1 及び10.2 で決定した是正処置及び予測対応処置を実施するために必要な（ ）を計画し、実施し、かつ、管理しなければならない。 ー 必要とされる（ ）に関する基準の設定 ー その基準に従った、（ ）の管理の実施 ー （ ）が計画どおりに実施されたと確信し、証拠とするのに必要な程度の、文書化した情報の保持 ー 6.2.2 に規定したアプローチを用いたリスクへの対応及び監視
解答	